

Report-4

2013-2012

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka



ごあいさつ

秋山 孝

秋山孝ポスター美術館長岡・館長
多摩美術大学・教授

開館4周年目の秋山孝ポスター美術館長岡(APM)は、数多くの展覧会およびイベントを開催した。それに加え、秋山孝ポスター美術館長岡・蔵(APM・蔵)を12月から着工し、今年の春には完成する予定である。この蔵は、宮内駅の北に面したスロープを降りたところに位置している。施工は(株)高田建築事務所に依頼し、コンセプトは高田清太郎氏の得意とする雪国独特の構造設計を活かした木造建築である。特徴は歩道面から蔵の入り口まで長い雁木を配したデザインとなっている。デザインは、歴史的建造物APMの建物と類似したフォルムを基本に、伝統的な蔵との融合的なもので个性的でランドマークになりうる。駅前にある特典を活かし、APMとの道筋になり、摂田屋の街まで誘導できるように考えられたものである。これにより宮内・摂田屋地域周辺を含め、街が活性化するように願っている。

今年度の企画展は「第9回『ノー・モア・フクシマ』」「第10回『越後百景十選』秋山孝ポスター展4」「第11回企画展『メッセージイラストレーションポスター展4』」で、それに伴う美術館大学は「第14回『ノー・モア・フクシマ』について／講師：U.G.サトー、福田毅、高田清太郎、秋山孝」「第15回『越後百景十選』について／講師：河田博、秋山孝」「第16回『ワルシャワ国際ポスタービエンナーレについて』／講師：甲賀正彦、御法川哲郎、秋山孝」「第17回『新企画2013『高田清太郎の建築デザイン哲学』展と『ポーランドポスターの巨匠 in 長岡』展』／講師：高田清太郎、御法川哲郎、秋山孝」を実現できた。

さらに「博物館実習 in APM／実習者：阿部春花、庭野真梨子(ともに長岡造形大学)」「課外授業『町探検 in APM』／長岡市立上組小学校2年生／指導教諭：関谷晴代氏」「課外授業『なりたい自分』まちかど美術館2012／長岡市立上組小学校6年生／企画：長岡市立上組小学校」「長岡市立上組小学校アートイベント『上組地域への感謝の会』／長岡市立上組小学校6年生／主催：長岡市立上組小学校／指導教諭：神谷典男氏」「1,000,000人のキャンドルナイト in APM」を実施した。

APMは1.作品展示、2.研究、3.教育を活動目的としているので、それに即したイベントを行っている。今年も長岡造形大学の博物館実習生を受け入れることになっている。それから上組小学校とのイベントを行うなど、さまざまな教育および社会的貢献を実現している。

法人会員、終身会員、一般会員のサポーターズ倶楽部の皆様に感謝するとともに、ご報告いたします。



秋山孝ポスター美術館・蔵 建設風景 2013年2月14日

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-04-05

APM news 058

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2012年4月号 vol.135

「第1回東京装画賞 2012」作品募集!

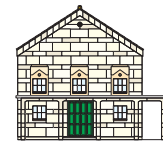
Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 118

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクター・コミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>

第1回 装画の力、装丁の美
東京装画賞 2012 作品募集!
Tokyo Book Jacket Illustration Competition 2012

応募期間
2012年4/2(月)～5/11(日)まで
www.tokyo-book-jacket.com

【主催部門】
日本図書設計家協会
【協賛】
東京装画賞実行委員会
【審査員】
秋山孝(長岡市) 館長
宮内和夫(長岡市) 館長
【賞状】
最優秀賞 1名
優秀賞 2名
佳作賞 5名
【賞金】
最優秀賞 10万円
優秀賞 5万円
佳作賞 2万円
【応募資格】
日本国内在住の18歳以上の個人
【応募方法】
応募用紙に作品を貼り、封筒に入れて郵送
【お問い合わせ】
TEL: 03-5561-1111
E-MAIL: info@tokyobook-jacket.com

図書設計家協会は「第1回東京装画賞2012」の作品募集を行った。東京装画賞の始まりは、電子ブックの登場した今だからこそ、装画の力、装丁の美を見直し、再認識しなければならないという考えからだ。上質な文字・上質なイラストレーションは消え去るものではなく、ビジュアルコミュニケーションの基本だ。「東京装画賞」を発信することは装画装丁の価値の高さを問いただし、日本図書設計家協会が誇りを持っておこなうべき社会への提案だと考える。そこに生きている人々に感動を与える装画と装丁の創作の場を提供することである。ポスターのデザインアイデアは、装画家が本文のコンテンツのイメージを象徴化し、そのメッセージを発信する制作プロセスをビジュアル化した。



(上)「東京装画賞 記者発表受付/新橋第一ホテルにて」
(下)「東京装画賞 記者発表/秋山孝(左)、宮内和夫(右)」

[Title] ----- 「第1回東京装画賞 2012」作品募集!
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2012
[Client] ----- 日本図書設計家協会
[Category] --- 文化
[Idea] ----- 装画家が本文のコンテンツのイメージを象徴化し、そのメッセージを発信する制作プロセスをビジュアル化した。



秋山孝ポスター美術館長岡

4月21日(土)より、「ノー・モア・フクシマ」展が始まります。
初日開館時間:午後3:00の美術館大学より始まります。
Tel, Fax: 0258-39-1233 E-mail: info@apm-nagaoka.com

予告

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-04-25

APM news 059

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

2012年度 秋山孝ポスター美術館長岡 4月21日(土) pm1:00~pm2:00
運営委員会・サポーターズ倶楽部役員会合同会議



2012年度運営委員会・サポーターズ倶楽部役員会合同会議は、運営委員会会長豊口氏の挨拶で始まった。秋山館長より2011年度の事業活動報告があり、年々秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) での活動が増えてきていることが紹介された。これからも内容を厳選しつつ、APMにふさわしいイベントを増やしていきたいと述べた。つづいて、2012年度の事業活動計画案についても、秋山館長より紹介された。2009年のオープンから続いている年間3回の企画展と美術館大学のほか、昨年より始まった学芸員実習生の受入や地域との交流を図るキャンドルナイト、長岡市立上組小学校との合同企画「まちかど美術館」なども2012年度の計画に組み込まれたことを説明した。また、今後のAPM運営に関わる重要項目として、APM「蔵」構想、「APM賞」構想、APM法人化構想、APMリニューアルについて、公式webサイトがリニューアルしたことについても説明された。法人化構想については、工程表を作成し計画性をもって取り組んだ方がいいのではないかと意見が上がった。2011年度会計報告および2012年度予算案については事務局長河田より説明があった。以上について審議され、承認された。今回の会議で特に心に残ったのが、何でも展示する美術館であってはならないという秋山館長の言葉である。APMは「ポスター」「教育」「研究」を大切にしたい美術館であり、この3つの柱から外れてしまえば大事なものを失うことになるかと警鐘を鳴らした。(APM公式ホームページより抜粋)

運営委員会：秋山孝(館長)、豊口協(会長)、高田清太郎(副会長)、田上紘三郎(幹事)、高田勉(幹事)、広川和義(幹事)、丸山博(幹事)
サポーターズ倶楽部：高田清太郎(会長)、田上紘三郎(副会長)、秋山孝(顧問)、小川八重子(理事)、覚張良裕(理事)、山本敦(理事)、
今井進太郎(理事)、高田彰(理事)

事務局：河田博(事務局長)、御法川哲郎、神林弘子、森山奈帆

出席者：16名

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-04-30

APM news 060

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

第14回美術館大学 4月21日(土) pm3:00~4:30/受講者:46名

「『ノー・モア・フクシマ』について」 講師:U.G.サトー、福田毅、高田清太郎、秋山孝



2012年度最初の企画展は「ノー・モア・フクシマ」である。反原発ポスター展実行委員会の協力の、開催された。「ノー・モア・フクシマ」は1945年の「ノー・モア・ヒロシマ」から付けられたものである。長岡市は刈羽原子力発電所のある刈羽村からおおよそ25キロの地にある。「ノー・モア」のあとに私たちの町の名前が入らないようにしたいというサポーターズ倶楽部会長高田清太郎氏の開催宣言から美術館大学は始まった。

2011年3月11日に起きた東日本大震災は、地震、津波、原発事故という3つの不幸が重なった結果引き起こされた災害であった。秋山館長は2004年の中部地震に心を痛め、デザイナーとして何が出来るかを考えたときに、まずはポスターを作り、地震の記憶を風化させないことが重要であると考え、「地震ポスター支援プロジェクト」を立ち上げた。原子力発電は、1954年に原子力研究開発予算が国会に提出されたことが契機となり、次第に加速していく。1986年にはチェルノブイリ原子力発電所事故が発生し、約350万人の反原発署名が集まるも無視される形となった。これは電力会社が広告業界を味方に付け、原子力発電の安全性をアピールしたこともひとつの要因である。日本人は徐々に原子力の存在に慣れてしまい、その結果、福島原発事故が起こったのだとした。

反原発ポスター展を立ち上げたU.G.サトー氏は、今回の反原発ポスター展は国内外から約250点のポスター作品が寄せられ、朝日新聞出版の「朝日ジャーナル〜わたしたちと原発」に掲載されたりと、徐々に反原発の訴えが理解されてきていると述べた。

また高田清太郎氏は次のように語った。原発の安全神話は、経済利益や政治的背景によって都合よく作られたものでしかない。作られた「神話」に寄りかかるのではなく、正確な情報によってわれわれ自身が判断することに意味がある。居場所をなくす悲劇は、二度と繰り返してはならないとした。

最後に秋山館長より、今回4名の講師の方々からさまざまな意見を聞くことができたが、こうした場の設定と継続こそが大切であると締めくくった。

(APM公式ホームページより抜粋)



第9回企画展「ノー・モア・フクシマ」懇親会風景

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-05-05

APM news 061

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL.0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2012年5月号 vol.136

No More Fukushima ノー・モア・フクシマ/反原発ポスター

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

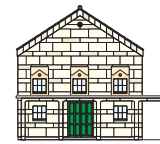
秋山孝長岡コレクション 119

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展

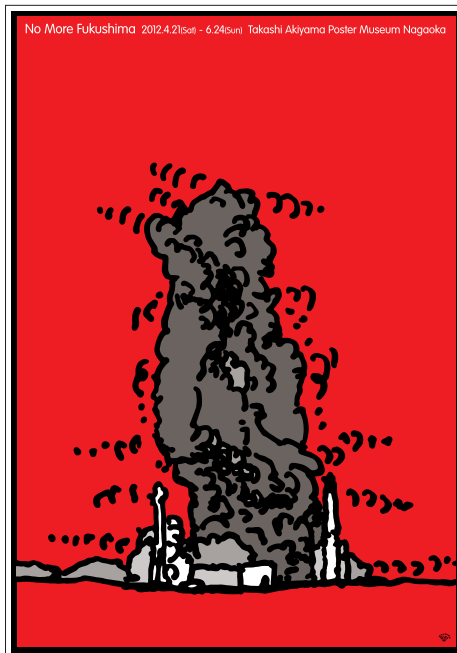
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



[Title] ----- No More Fukushima
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2012
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡
[Category] --- 社会、エコロジー
[Idea] ----- 福島第1原発、3号機での水素爆発を描いた。色彩はグレーと赤、恐怖をデザインした。



ノー・モア・フクシマ

4月21日(土)~6月24日(日) 秋山孝ポスター美術館長岡
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

開催中

昨年3月11日に起きた東日本大震災は、地震、津波、原発事故とわずかな時間差でやってきた。地震、津波災害とは異なり、目処がつかない原発事故の問題を現代社会が提示してきた。ところが私たちの長岡市には、となり町に東京電力柏崎刈羽原子力発電所があり1号機から7号機までの大規模な原子炉がある。つい近年、2007年7月16日に新潟県中越沖地震が起きたときの記憶は新しい。この地震では、柏崎市で震度6強を観測したため、運転を行っていた2、3、4、7号機は自動で緊急停止した。危機一髪だった。わが美術館のある醸造の街は、豊かな自然水がありこの恵みで成り立っている。東となりの県、福島のことを考えると人ごとではない。私たちには、未来のために実現しなければならぬことがある。今がそのときだ。



(上) 「ノー・モア・フクシマ/美術館大学」
(下) 「ノー・モア・フクシマ/オープニングパーティー」

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-06-05

APM news 062

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2012年6月号 vol.137

Student Conference 2008

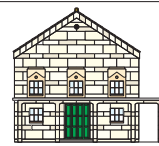
Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 120

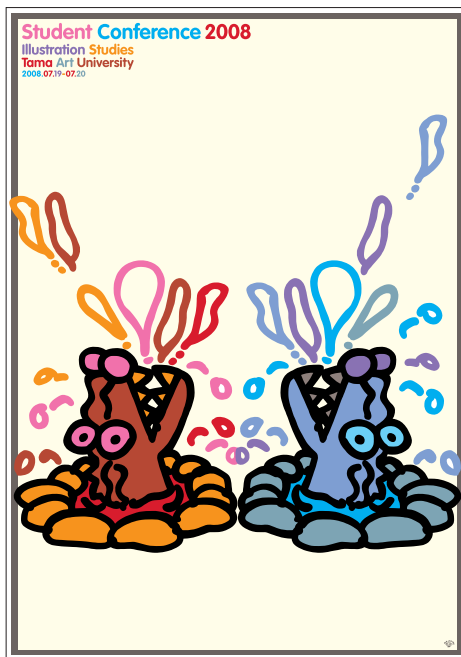
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



[Title] ----- Student Conference 2008
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2008
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ
[Category] --- 教育
[Idea] ----- 人間をワニに見立てることで見る側がユーモアを感じながら受け入れてくれる。喧嘩がくがくの議論でも独断的な饒舌家であろうとくっつけてグロテスクにはならない。



ノー・モア・フクシマ

4月21日(土)～6月24日(日) 秋山孝ポスター美術館長岡
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

開催中

2008年7月19日に多摩美術大学イラストレーションスタディーズは、多摩美術大学八王子校舎レクチャーホールCで「スチューデント会議2008」を開催した。それは、新たなイラストレーションの概念を確立することを目的としている。ポスターデザインは、恐ろしいと思われているワニが、赤組と青組に別れて意見交換や議論を戦わせているシーンを描いた。人間をワニに見立てることで、見る側がユーモアを感じながら受け入れてくれる。例えば、これが国会などで与党と野党の政治家が論争している姿では、リアルすぎて不快感が出てくるときがある。しかし、ワニに例えると喧嘩がくがくの議論でも独断的な饒舌家であろうとくっつけてグロテスクにはならない。



(上)「スチューデント会議」秋山孝(左)、牧野圭一(右)
(下)「スチューデント会議」多摩美術大学にて

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-06-20

APM news 063

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

長岡造形大学 学外授業 6月15日(金) pm 1:30~4:30 / 参加者: 10名

御法川研究室・視覚デザインプロジェクト演習講評会



長岡造形大学・視覚デザイン学科4年生の御法川研究室では、学外授業として秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) にて学生作品の批評やアドバイスを行う講評会を行った。これは5月18日(金)に続いて2回目の試みである。視覚デザイン学科では4年次に、卒業研究、視覚デザインプロジェクト演習という2つの実技の単位を取るようになる。御法川研究室ではプロジェクト演習においてポスターを作成する課題を扱っている。学生作品の講評会の場として、ポスターのみを常に展示しているAPMは非常に魅力的であると常々考えていたため、秋山館長の了解を得て学外授業として活用させていただくことになった。授業課題のテーマとして扱っていたのは「地震」「原発」という2つである。ちょうど6月いっぱいまで、APMでは「NO MORE FUKUSHIMA」展を開催しているため、学生の参考としてもビタリとはまる。講評会では床に学生作品を全て並べ、壁面に3段で貼られたポスター群に囲まれながら自分の作品と対峙することになる。これが学生にとって程よい緊張感と刺激をつくり、学内で行う授業とは違ったものとなる。日本や世界の著名なグラフィックデザイナーの作品と自分の作品を同じ空間で比較し、その違いを知るといことは作品の質を上げていくのに有効である。御法川研究室は10名で、クラス内でお互いの作品を比較しライバル関係を築いていくには作品数が少ない状況である。しかしAPMにおいては世界のグラフィックデザイナーに対して勝手にライバル心を燃やして作品で挑んでいくこともできる。これは大きなメリットである。

長岡造形大学はAPMと比較的近い距離にありながら、これまで連携することがあまりなかった。こうして授業を行うことで、大学との距離が近づき、学生にももっと身近なものになってほしいと考えている。それによって学生はこれまで知らなかった作家を知ったり、質の高いものに触れることができ、多くの刺激を得られるはずである。また今後は、7月7日(土)そして9月以降も学外授業として、学生達に対してこの魅力的な場を活用させていただく予定である。(長岡造形大学・視覚デザイン学科/御法川)



視覚デザインプロジェクト演習 講評会風景

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-07-05

APM news 064

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2012年7月号 vol.138

第23回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ2012

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 121

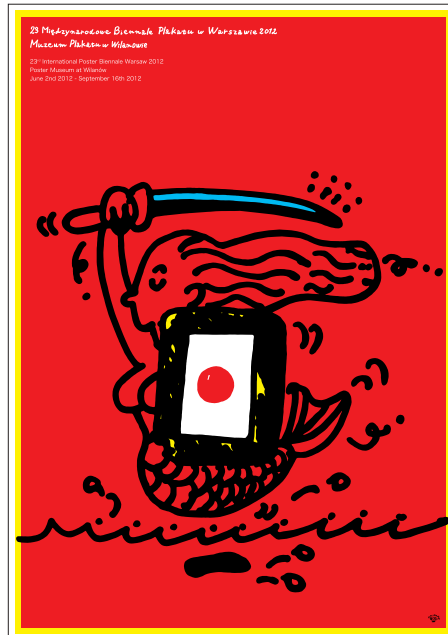
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



ワルシャワ国際ポスタービエンナーレの審査員として5月にポーランドを訪れた。ほくは、1985年に初めてワルシャワを訪れて以来ビエンナーレが開催するたびに参加している。ポスターの聖地のような街だ。世界からたくさんのポスターデザイナーが集まる国際交流の場である。審査は7人の国際審査委員の長い議論の末、各部門の金賞受賞者が決まり式典は最高に盛り上がる。このポスターは、展覧会告知のためのものでワルシャワの街中に貼られる。デザインは、ワルシャワのシンボルの人魚とポスタービエンナーレのマークとをモチーフにした。まるで日本の国旗のようだがビエンナーレのシンボルロゴだ。人魚が果敢にワルシャワを救う姿を描いた。

[Title] ----- 第23回ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ2012
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2012
[Client] ----- ワルシャワ・ヴィラノフポスター美術館
[Category] --- 文化
[Idea] ----- まるで日本の国旗のようだがビエンナーレのシンボルロゴだ。ワルシャワの人魚が果敢にワルシャワを救う姿を描いた。



(上)「ワルシャワ・ヴィラノフポスター美術館」
(下)「ワルシャワのシンボル・人魚像/旧市街にて」



「越後百景十選」秋山孝ポスター展4

7月7日(土)～9月23日(日) 秋山孝ポスター美術館長岡
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

開催中

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-07-15

APM news 065

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

第15回美術館大学 7月7日(土) pm 3:00~4:30/受講者:72名

「『越後百景十選』について」 講師:河田博、秋山孝



秋山孝ポスター展も今回で4度目の開催となる。「越後百景十選」というタイトルが付き、テーマがより明確になった。ホクギン経済研究所の副所長河田博氏と秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) 館長秋山孝が、その「越後百景十選」について対談した。まず秋山館長より「越後百景十選」制作の経緯が語られた。江戸時代の「江戸百景」や「富嶽三十六景」といった浮世絵は、もともと旅行記であり、記念の印刷物として発達していったものであるが、秋山館長は現代の「江戸百景」や「富嶽三十六景」のようなものをポスターで制作したいとずっと考えていた。そこへ河田氏より「ホクギンマンズリー」表紙デザインの依頼があり、「越後百景」を制作するに至ったのだという。河田氏からは、「ホクギンマンズリー」表紙デザインを秋山館長に依頼した経緯が語られた。そもそも「ホクギンマンズリー」とは、会員と全国の金融シンクタンクなどに配布している会報である。表紙はカラーで、パンフレットのような薄い冊子である。他機関の同様の冊子では、表紙に抽象的な図形や写真を使用しているものが多いが、「ホクギンマンズリー」ではイラストを使っていこうという方針に決定した。そのような折、サポーターズ倶楽部会長・高田清太郎氏に誘われ、APM設立に関わったことが縁となり、秋山館長とお付き合いが始まった。機会が巡ってきたと感じた河田氏は、「ホクギンマンズリー」の表紙デザインを依頼した。そして2011年1月号に越後百景・十選一番「ニッポニアニッポン・トキ」が表紙を飾る。「越後百景十選」カタログの中で秋山館長は「越後はまだまだ計り知れない魅力と、その美しさの満ちあふれた地形や人が育んできた文化がある。その奥深い歴史と人間性のある生活から出てくる言葉にはできないものや越後の美を、北斎や広重のように現代ポスター表現で発見したいと思っている。これから可能な限り越後を歩いて、見たこともない感動あるいはすでに周知しているが忘れ去った心を見つけ出したいと願っている」と語っている。いつか「越後百景二十選」や「越後百景三十選」を見ることができるとを待ち望んでいる。

(APM公式ホームページより抜粋)



第10回企画展「越後百景十選」懇親会風景

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-07-25

APM news 066

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

高田建築事務所主催 6月21日(木) pm6:00~10:00/参加者:64名

1,000,000人のキャンドルナイト in APM

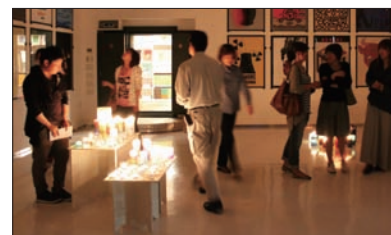


キャンドルナイトとは、夜、照明を消し、キャンドルを灯して過ごそうという運動のことである。キャンドルを灯すことで気分転換を図ったり、雰囲気演出したりするなどの他、省エネルギーや自然保護、地球温暖化防止を目的とする。秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) で開催されるキャンドルナイトは2011年の夏至より開催され、今回で2回目である。省エネも意識しているが、どちらかというと前者の意味合いが強い。キャンドルでデザインされた空間を演出し、地域の住民同士の絆を深める拠点として提供している。ところが、今年のキャンドルナイトには付加価値が加わった。奇しくも開催中の展覧会は「ノー・モア・フクシマ」。省エネや地球温暖化について考えるには絶好の機会となる。

pm6:00よりキャンドルの点灯を開始した。夏至の夜なので外はまだ明るい。ちらほらと訪れる来場者との会話を楽しむ。

pm7:00をまわると夜の暗さが益し、キャンドルの灯りに吸い寄せられるように、来場者も徐々に増え始めた。pm8:00からは、有志による生演奏が始まった。あるものは歌を、あるものはギターを、またあるものはウッドベースの演奏を披露する。その音はAPMの展示室に響き渡り、会場を包み込んだ。来場者は思い思いの場所に座り、電気を使用しない生の音楽に耳を傾けた。

今回のキャンドルナイトを行ったことにより、来場された各人が自宅の電気を消し、APMに集まり、ひとつの時間と空間を共有したことによる連帯感が芽生えた。この連帯感を一時的なものにしないためにも、継続的にイベントを開催し、APMがまちづくりの拠点であると認知してもらうことが重要である。主催者は報告書にて「その街の歴史とリンクさせて新しいものを生み出していくことで、継続的なまちづくりを実現していけると考える」と、福島江の燈籠流しを例にあげて述べている。そのまちの歴史を学び、どういった経緯でその文化、風習が生まれてきたのか、廃れていったのかを検証し、それを現代に合わせた形で企画していくことで魅力的なイベントを開催できるのではないだろうか。(APM公式ホームページより抜粋)



キャンドルナイト風景

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-08-05

APM news 067

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2012年8月号 vol.139

「越後百景十選」秋山孝ポスター展4

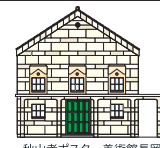
Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 122

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE+HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



[Title] ----- 「越後百景十選」 秋山孝ポスター展4
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2012
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡
[Category] --- 文化
[Idea] ----- 江戸の浮世絵師、北斎や広重みたいに現代のメディアであるポスターで越後の美を表現したいと、機那サフラン酒本舗(創業者:吉澤仁太郎)の豪華なエントランスを描いた。



「越後百景十選」秋山孝ポスター展4

開催中

7月7日(土)~9月23日(日) 秋山孝ポスター美術館長岡
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

「秋山孝ポスター展4」は、越後をテーマとした「越後百景十選」(10点)をメインに展示した。以前からぼくは、故郷の越後をモチーフとした「越後百景」を制作しようと考えていた。越後は、まだまだ計り知れない魅力とその美しさに満ちあふれている。そこには、奥深い歴史と人間性のある生活から出てくる独特の表情と、その自然による地形や人が育んできた文化があるからだ。江戸の浮世絵師、北斎や広重とは少々異なるが、現代のメディアであるポスターで越後の美を表現したいと制作した。ポスターデザインは、歴史ある建物が残る長岡市摂田屋、機那サフラン酒本舗(創業者:吉澤仁太郎)の豪華なエントランスと母屋、それに明治44年の木製看板も描いた。



(上)「越後百景十選」美術館大学
(下)「越後百景十選」展覧会記念写真

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-08-20

APM news 068

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



長岡造形大学

「博物館実習」 in APM

実習者：阿部春花、庭野真梨子

実習期間：6月24日(日)~7月8日(日)

実習時間：am11:00~pm5:00

〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



2011年度に引き続き、2012年度も長岡造形大学より依頼を受け、学芸員実習生を受け入れる運びとなった。APMでの博物館実習は2年目、実習生は昨年とあわせて4人目となる。

今回の実習では、現在秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) で開催している展覧会の撤収から次の展覧会開催までの流れを学ばせる。実習内容は、広報活動、教育普及活動、会員サービス、作品の取り扱い、作品管理などである。広報活動では、webを介しての広報、展覧会資料の送付、現場へ赴いての広報と、大きく分けて3つの活動を行った。特にwebを介しての広報では、ブログによる広報活動を指導し、言い回しひとつとっても美術館スタッフとして相応しいかどうかを検討しながら取り組んでいた。教育普及活動では、APMが定期的、継続的に開催している「美術館大学」での補助業務をさせた。美術館大学が滞りなく進むよう、当日の流れを説明し、来館者の案内、会場設営、撮影などをさせた。会員サービスは、サポーターズ倶楽部入会者への送付物の発送や、展覧会案内の発送などをさせ、APMを支えてくださっているサポーターズ倶楽部について説明した。作品の取扱いは、展示作品の額装作業の中で学ばせ、作品管理ではいままで収集してきたポスター作品を分類し、保管させた。展示室の壁の修復作業では丁寧な仕事ぶりだったこともあり、壁の穴や傷はほぼわからないまでになった。

今回の実習では最終日に、実習の報告を受けた秋山館長(多摩美術大学教授)、関根慎一氏(多摩美術大学講師)、御法川哲郎氏(長岡造形大学准教授)に講義をしていただいた。ポスターの美術館としての理念、展望、学芸員の必要性や価値についてお話いただき、APMがこれまで行ってきた試行錯誤やこれからの課題などを提示した。実習生たちもこの実習を受けた動機や感想、APMで学んだことなどを報告した。2012年度も2名が実習を終え、APMでは昨年とあわせて4名の実習生を送り出した。二人がこの経験を活かし、社会へ貢献していくことを期待している。(APM公式ホームページより抜粋)



実習風景 / (右) 阿部春花、(左) 庭野真梨子

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-09-05

APM news 069

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2012年9月号 vol.140

秋山孝 in 四川成都 2012

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 123

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展

<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE+HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



[Title] ----- 秋山孝 in 四川成都 2012
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2012
[Client] ----- 成都市新都區对外文化交流協會
[Category] ---- 文化
[Idea] ----- 四川のシンボル「パンダ」が竹藪のグリーンに同化し、芸術家のアングルに入った瞬間を現した。出会いの感動だ。



「越後百景十選」秋山孝ポスター展4 開催中

7月7日(土)～9月23日(日) 秋山孝ポスター美術館長岡
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

今年の中国での展覧会「秋山孝 in 四川成都 2012」展(6月27日～7月25日)は四川省成都区政府の向かいにある桂湖公園の湖心楼で開催された。その庭園は、隋唐の時代に建設され2000年を経た優雅な佇まいだ。唯一保存され重要文化財に指定されている。日本の庭園とは異なり雄大な優雅さがある。オープニングセレモニーでは小雨が降り、池に咲く蓮が美しく輝いていた。ほとんどの作品は、その空間と想像以上に調和していた。展覧会ポスターのデザインは、四川のシンボル「パンダ」が竹藪のグリーンに同化し、芸術家のアングルに入った瞬間を現した。出会いの感動だ。私たちは、いつも自然の中で美との出会いを探している。



(上)「展示会場：桂湖公園の湖心楼」
(下)「大看板の前でスタッフ達と」

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-09-20

APM news 070

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

第16回美術館大学

「ワルシャワ国際ポスタービエンナーレについて」

8月3日(金) pm 3:00~4:30 / 受講者: 67名 / 講師: 甲賀正彦、御法川哲郎、秋山孝



「ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ」とは、世界初のポスタービエンナーレとしてポーランドで1966年にスタートした。部門はイデオロギー部門、文化部門、広告部門、その他の部門の4つがある。隔年で開催され、2012年で23回を迎えた。若いポスター作家にとって登竜門であり、世界のポスター作家が出品する国際コンクールである。今回の美術館大学では、2012年イデオロギー部門金賞受賞の御法川哲郎氏、2012年文化部門銅賞受賞の甲賀正彦氏、26年前の1986年イデオロギー部門金賞受賞者であり、審査員を務める秋山孝館長の3名が、ワルシャワ国際ポスタービエンナーレについて語る。

まず、秋山館長よりワルシャワの基礎知識が地図や写真といった画像とともに紹介される。ワルシャワはポーランドの首都であり、ヴィラヌフポスター美術館がある。ヴィラヌフポスター美術館はもともとヴィラヌフ宮殿の馬小屋だった建物を美術館へと改装したもので、ポスターに特化した美術館である。銀行だった建物を美術館に生まれ変わらせたAPMとどこか共通するものがあると語った。旧市街の町並みの美しさにも言及し、戦時中、ドイツ軍に壊滅させられた街を、一枚の凶面もない状態から復元したワルシャワの人々の熱意を讃えた。ビエンナーレの様子も、多くの写真とともに紹介された。街中いたるところに貼られたポスター、華やかな表彰式風景、厳しい審査の様子が映し出され、ビエンナーレの空気が伝わってきた。審査風景では、議論を尽くし、審査員の中には体調を崩す人が続出するという秋山館長の言葉に、世界のトップレベルの厳しさや激しさ、責任の重さを感じた。

質疑応答の時間には興味ある質問が続出した。長岡造形大学視覚デザイン学科の吉川賢一郎准教授からは、3名の講師に「いいポスターとは」という質問がなされた。御法川氏は図と文字と、そのふたつが作り出す意味の3つの関係が面白いもの、つまりメッセージと表現のバランスのいいものではないかと述べ、甲賀氏は「コンクールにおいて入選以上はすべていい作品である」という原則を述べた上で、秋山館長が以前語ったという「多くの中で1つの優秀な作品を見つけることは困難であるが、1対1では必ず優劣がある」という名言を持ち出し、いいものは直感で判るのではないかとユーモアたっぷりに主張した。秋山館長は、目的があり、その目的に沿ったものや、人々を動かす力のあるポスター、心に残るポスターはいいポスターであるとした。最後に講師の御法川氏から「ポスターに執着した理由は」と質問された。甲賀氏は制作しないと秋山先生に怒られるからである、と会場を笑わせた。それを受けた秋山館長は、人に対して檄を飛ばすのは、翻って自分に対する激励でもあるのだと述べた。20代の頃にポスターを描き続けようとして、以降ずっとポスター制作を続けてきた。真剣に取り組み、継続してきたものこそ正しい答えを出せるので、これからもポスターにこだわっていきたくて締めくくった。(APM公式ホームページより抜粋)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-10-05

APM news 071

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2012年10月号 vol.141

GLOB-ALLMIX in Tokyo ポスター展

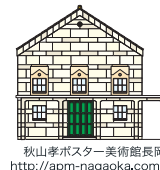
Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 124

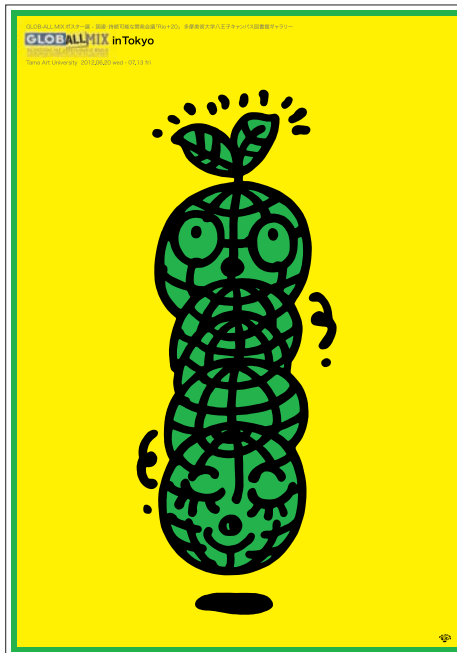
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。

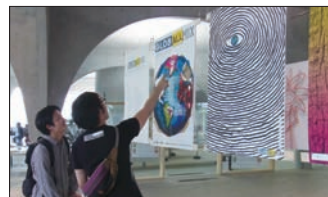


秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



国連・持続可能な開発会議「Rio+20」は、1992年に開催されたリオ・地球サミット「環境と開発に関する国連会議」から20年を機に、ブラジル政府によって2012年6月20日～22日の間、リオデジャネイロで開催した。主要テーマは「グリーン・エコノミー(持続可能な開発および貧困緩和の意味でのグリーン・エコノミー)」と「持続可能な開発の組織的フレームワーク」だ。「Rio+20」ポスター展は会期に合わせて6月20日から30カ国で同時に開催され、東京では、多摩美術大学図書館ギャラリーで6月20日～7月13日まで開催した。ポスターデザインは、持続可能な地球をイメージし、新たなグリーン世界とその調和の芽吹きを明るさを表した。

[Title] ----- GLOB-ALLMIX in Tokyoポスター展
国連・持続可能な開発会議「Rio+20」
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2012
[Client] ----- GLOB-ALLMIX in Tokyoポスター展実行委員会
[Category] ---- 文化
[Idea] ----- ポスターデザインは、持続可能な地球をイメージし、新たなグリーン世界とその調和の芽吹きを明るさを表した。



(上)「展示会場:多摩美術大学図書館ギャラリー」
(下)「多摩美術大学 大学院授業風景」

 **メッセージイラストレーションポスター展4** 開催中
10月6日(土)～10月31日(水) 秋山孝ポスター美術館長岡
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-10-20

APM news 072

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2012年11月号 vol.142

御守 彌高神社 秋田

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

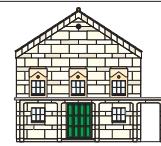
秋山孝長岡コレクション 125

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展

<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



秋田市の千秋公園にある彌高(いやたか)神社から、御守りのデザインの依頼を受けた。県社彌高神社は、森を背にした静謐な佇まいの由緒を感じる神社だ。2012年5月1日、例祭奉納行事宵宮祭が行われ、神楽「浦安の舞」など神聖な空間で透明感を感じる風で心が洗われた。翌日、彌高神社例大祭奉納行事において玉串拝礼し、直会(なおりい)において奉納した原画をお披露目した。御守りは、ブルーの色彩を基準に金糸を施し「森羅万象に神宿る生々発展」をイメージした。そして、ポスターデザインは、シンメトリーの構図で左右に神宿る森羅万象を象徴する樹木と地球を配した。センターのタイポグラフィ「御守」「彌高神社」は、自筆である。



(上)「彌高神社/例祭奉納行事宵宮祭風景」
(下)「彌高神社御守/(左)表、(右)裏」

[Title] ----- 御守 彌高神社 秋田
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2012
[Client] ----- 彌高神社
[Category] --- 文化
[Idea] ----- シンメトリーの構図、左右に神宿る森羅万象を象徴する樹木と地球。



秋山孝ポスター美術館長岡 11月1日より冬期休館中

春4月20日(土)より、「高田清太郎の建築デザイン哲学」展が始まります。
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2012-10-25

APM news 073

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

第17回美術館大学 10月6日(土) pm3:00~4:30/受講者:44名/講師:高田清太郎、御法川哲郎、秋山孝
『新企画2013『高田清太郎の建築デザイン哲学』と
『ポーランドポスターの巨匠展』について』



17回目の美術館大学が開催された。今回の美術館大学は、2013年の4~6月に開催される「高田清太郎の建築デザイン哲学」展と「ポーランドポスターの巨匠 in 長岡」展に関するお話を、高田清太郎氏、御法川哲郎氏、秋山孝館長より伺うことができた。

まず初めに「高田清太郎の建築デザイン哲学」についてお話を聞かせていただいた。高田氏はAPMサポーターズ倶楽部の会長であり、高田建築事務所の代表取締役社長である。今まで数多くの建築物を造り、まちづくりに奔走してきた。秋山館長は、高田氏をより深く理解するために高田氏のブログから重要な言葉を選び出し、「金言」と名づけた。その金言と、高田氏がこれまで手がけてきた作品(=図面、建築写真、立体模型)を展示するのが2013年最初の展覧会である。高田氏がブログを始めたのは、ブログというツールが社長の考えや経営方針を理解してもらうために重要であると進言されたからである。今回取り上げたのは10点ほどである。中でも「雪」の項目の金言が印象深い。「そもそも融雪設備の歴史は大変短い。むしろ、三国街道は屋根から下された雪をそのままにして不便をしていた、かつての雪国の都市生活を偲ぶには欠かせない要素としてとらえる方が良いように思う」これは、長岡市榎田屋のまちおこし事業のひとつで「榎田屋総選挙」とうたったコンペに関するコメントの一部である。三国街道の改善、整備についてさまざまな計画案が出されたが、その中で冬期の雪対策については、ほとんどのコンペ参加者が地下水による融雪を提案した。しかし雪をただ邪魔なものとして消すことははたして正しいのであろうか。雪のある風景こそが、不便さも含めて原風景なのではないか、と語った。

続いてポーランドポスターの巨匠展について、御法川氏と秋山館長からご説明いただいた。ポスターを理解するに当たって、その国の言語や文化、歴史について何年も時間をかけて研究することが重要である。美術館の役割は作品をただ展示するのではなく、研究にこそある。ポーランドのポスターにはいくつかの特色があり、そのひとつが作品としての芸術性である。合理的な考え方に支配された昨今のポスターは、さまざまな情報や、タレントの起用に終始し、「作品」とは呼べない。しかしポーランドのポスターは作家の個性が発揮され、またポーランド書体と呼ばれる美しい字体で記される情報は大変魅力的だ。たとえばマチェイ・ウルバニエツの「サーカス」があげられる。「サーカス」には日時も場所も記載されていない。サーカスを象徴する絵が描かれているだけだが、いつどこにサーカスがやってくるのかは周知の事実として認識されているのだという。今回の美術館大学は、二つの展覧会について語っていただくという、盛りだくさんの内容であった。来年の展覧会を楽しみにしていただくためのきっかけとなれば幸いである。(APM公式ホームページより抜粋)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-01-05

APM news 074

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2012年12月号 vol.143

4. Message Illustration Poster in Nagaoka

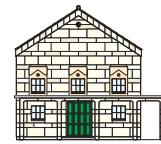
Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 126

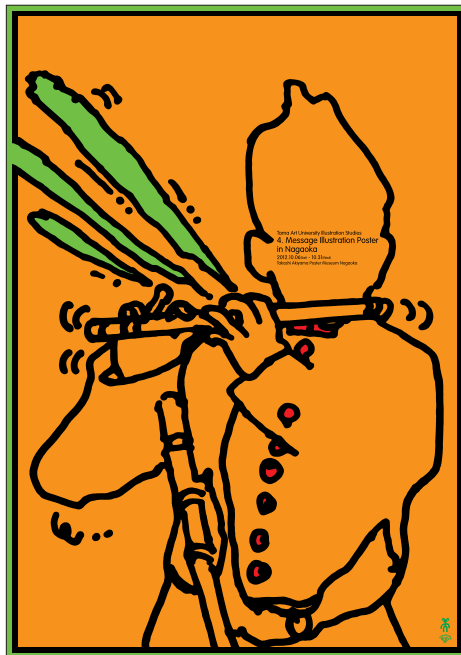
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



秋山孝ポスター美術館長岡(APM)が開館してから多摩美術大学大学院の院生の展覧会「メッセージイラストレーションポスター in 長岡」を毎年開催し今年で4回目だ。「ポスター(視覚芸術)におけるメッセージとは何か」の問いに対して、イラストレーション表現研究で各自がその答えを導き出さなければならない。美術館での展示によってのみしか見つけ出せないことがある。その意味で展示空間は大切な場だと信じている。今回のポスターデザインは、マネの名作「笛を吹く少年」をモチーフにしてデザインした。少年の笛から奏でられるメッセージは、美しく感動的だ。響き渡る音色が伝わる、心のメッセージをポスターデザインに持ち込んだ。

[Title] ----- 4. Message Illustration Poster in Nagaoka
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2012
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡
[Category] --- 教育
[Idea] ----- 少年の笛から奏でられるメッセージは、美しく感動的だ。
響き渡る音色が伝わる心のメッセージ。



秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。

春4月20日(土)より、「高田清太郎の建築デザイン哲学」展が始まります。
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com



(上)「メッセージイラストレーションポスター展4/美術館大学」
(下)「メッセージイラストレーションポスター展4/展覧会記念写真」

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-01-10

APM news 075

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2013年1月号 vol.144

グラフィック・アート&デザイン展 多摩美術大学&ポーランド・カトヴィツェ芸術アカデミー in 札幌

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 127

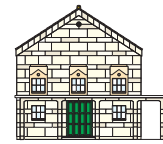
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展

<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長

1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



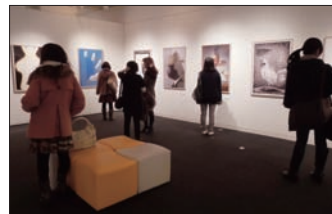
[Title] ----- グラフィック・アート&デザイン展
多摩美術大学&ポーランド・カトヴィツェ芸術アカデミー in 札幌
[Size] ----- 841 x 594 mm (A1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2012
[Client] ----- 多摩美術大学、札幌駅総合開発株式会社
[Category] --- 文化
[Idea] ----- 2羽のトキが重なり合いながら羽ばたく姿を描いた。トキの学名は「ニッポニア・ニッポン」で、日本で二つの大学が交流するのは意義深い。赤は、ポーランドと日本の国旗の色を表す。



秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。

4月20日(土)より「高田清太郎の建築デザイン哲学」展、
6月1日(土)より「ポーランドポスターの巨匠 in 長岡」展を開催します。
Tel. Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

2012年6月に多摩美術大学美術館において開催された「多摩美術大学xポーランド・カトヴィツェ芸術アカデミー交流展」のセレクション展を、12月1日から20日まで札幌プラニスホールで開催した。ポーランドは、歴史的な軋轢や勢力分布に翻弄されながらも、独特で優れた芸術家や文化人を輩出してきた。カトヴィツェ芸術アカデミーは、版画とポスター芸術に優れた美術大学として知られている。版画とポスターの展覧会は今までに見られない試みである。ポスターデザインは、2羽のトキが重なり合いながら羽ばたく姿を描いた。トキの学名は「ニッポニア・ニッポン」で、日本で二つの大学が交流するのは意義深い。赤は、ポーランドと日本の国旗の色を表す。



(上)「五十嵐威暢(多摩美術大学学長)ギャラリートーク(会場にて)」
(下)「グラフィック・アート&デザイン展/会場風景」

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-01-20

APM news 076

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2013年2月号 vol.145

Takashi Akiyama 60th Birthday 2012 秋山孝還暦

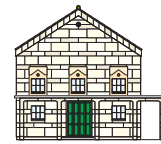
Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 128

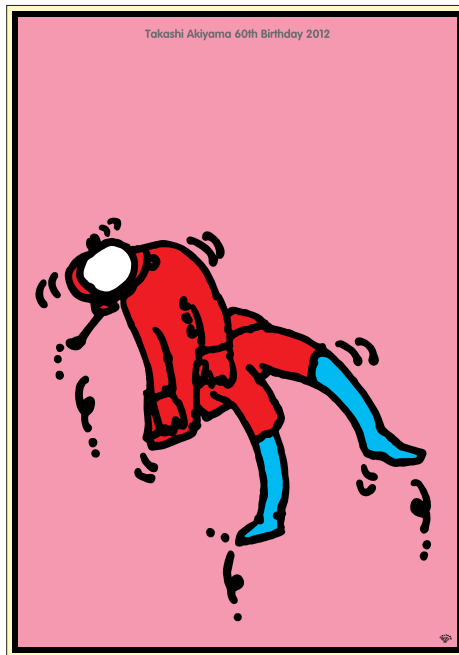
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



[Title] ----- Takashi Akiyama 60th Birthday 2012 秋山孝還暦
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2012
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡
[Category] --- 文化
[Idea] ----- はずかしいが「自分自身を自分で支配できない運命の還暦」それがぼくだ。まるで人形遊びの藁人形が宙に浮いているようだ。



秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。

4月20日(土)より「高田清太郎の建築デザイン哲学」展、
6月1日(土)より「ポーランドポスターの巨匠 in 長岡」展を開催します。
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

還暦は、干支がぐるっと回って生まれた年の干支になり、新たな暦の始まりだ。とうとう、2012年5月18日ぼくの還暦の年がやってきた。多摩美術大学イラストレーションスタディーズのメンバー(卒業生)が、お祝いにトリビュートポスターを制作してくれた。それぞれとても魅力的であった。ぼくは、ポスターに人生を賭けてきた。それならお返しは、自身の還暦ポスターをデザインすることだと思い制作した。はずかしいが「自分自身を自分で支配できない運命の還暦」それがぼくだ、というのが見えてきた。まるで人形遊びの藁人形が宙に浮いているようだ。ゴヤの名作「人形遊び」だ。そこに脱力した無力のぼくが遊ばれている。そんなぼくがいる。



(上) ポスター贈呈(左から高橋庸平、甲賀正彦、末房志野、小川雄太郎、堀池真美、秋山孝、大石晃裕、御法川智郎)
(下) トリビュートポスターの講評(秋山孝)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-02-20

APM news 077

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2013年3月号 vol.146

10. Message Illustration Poster 2012

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 129

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展

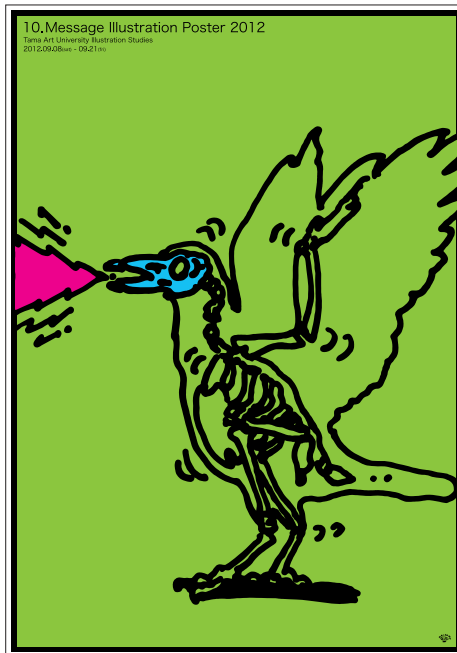
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。上組小学校、宮内中学校、長岡商業高等学校、多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞する。他、各国のビエンナーレにおいて多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランドで国際ポスター展の審査員として招聘される。著書に「キャラクターコミュニケーション入門」(角川書店)「Chinese Posters」(朝日新聞出版)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>

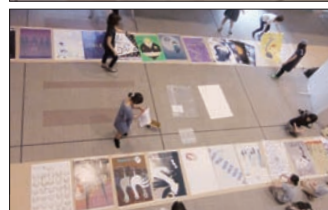


[Title] ----- 10. Message Illustration Poster 2012
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2012
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ
[Category] --- 教育
[Idea] ----- ハシトガラスのシルエットとその骨格から燃える炎が吐かれる「声なき声での叫び」だ。骨の髄まで染み渡るメッセージだ。



秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。
4月20日(土)より「高田清太郎の建築デザイン哲学」展、
6月1日(土)より「ポーランドポスターの巨匠 in 長岡」展を開催します。
Tel. Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

メッセージイラストレーションポスター展は、2000年から始まり学部生は10回目で大学院生は4回目を開催し、13年目を迎えた。そのお陰でポスターにおける伝達するビジュアルメッセージが如何なるものかという疑問に立ち向かえる能力を獲得することができた。それは、イラストレーション「声なき声でのささやき」「声なき声での叫び」を表現する手段であるということだ。芸術の神髄にかかわることになる。今回の展覧会告知ポスターは、ハシトガラスのシルエットとその骨格から燃える炎が吐かれる「声なき声での叫び」だ。その心は何か。納得できない社会の問題や抑えきれない感情に違いない。骨の髄まで染み渡るメッセージだ。



(上) 展覧会設営メンバー集合写真
(下) 展覧会設営風景

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-03-10

APM news 078

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

APM事業活動

APM課外授業の記録 2009年度～2012年度



2012.7.18.wed/第15回APM課外授業風景

2009年度 (2009.4～2010.3)

- 10.12.mon/第1回APM課外授業「メッセージイラストレーションポスター展 講評会」/多摩美大学院生・卒業生/講師:秋山孝/参加者:7名
- 10.13.tue/第2回APM課外授業「APMとは」/美術館大学・特別講義/講師:秋山孝/参加者:26名
- 12.18.fri, 21.mon/第3回APM課外授業「あなたならどう読む?ポスターにこめられたメッセージ」/教職12年経験者研修 教科別研修3【図画工作】/上組小6年生/指導教諭:金澤健志

2010年度 (2010.4～2011.3)

- 7.21.wed/第4回APM課外授業「町探検 in APM/秋山孝ポスター展2」/上組小2年生/指導教諭:柳宏美/参加者:36名
- 8.19.tue/第5回APM課外授業「APMの魅力」/ホクゲン宮内支店90周年記念講演会/講師:秋山孝/45名
- 10.7.tue/第6回APM課外授業「見学 in APM」/長岡市立石坂小学校/参加者:7名
- 10.27.wed/第7回APM課外授業「鑑賞授業 in APM」/上組小6年生/指導教諭:金澤健志/参加者:約90名

2011年度 (2011.4～2012.3)

- 7.13.wed/第8回APM課外授業「町探検 in APM/秋山孝ポスター展3」/上組小2年生/指導教諭:柳宏美/参加者:23名
- 10.8.sat/第9回APM課外授業「My タワー」/まちかど美術館2011/上組小6年生/会場:宮内商店街、APM/企画:上組小/協力:(株)高田建築事務所、APM/参加生徒:97名
- 10.26.wed/第10回APM課外授業「メッセージポスターがどんなことを言っているか想像しよう、返事をしよう」/上組小3年生/指導教諭:金澤健志/参加者:約90名

2012年度 (2012.4～2013.3)

- 5.18.fri/第11回APM課外授業「原発ポスター講評会」/造形大・御法川研究室/参加者:10名
- 6.15.fri/第12回APM課外授業「地震ポスター講評会1」/造形大・御法川研究室/参加者:10名
- 7.7.sat/第13回APM課外授業「地震ポスター講評会2」/造形大・御法川研究室/参加者:10名
- 7.8.sun/第14回APM課外授業「ポーランドポスターについて」/多摩美大学院生・卒業生/講師:秋山孝、御法川哲郎/参加者:26名
- 7.18.wed/第15回APM課外授業「町探検 in APM/『越後百景十選』秋山孝ポスター展4」/上組小2年生/指導教諭:関谷晴代/参加者:38名
- 10.6.sat/第16回APM課外授業「なりたい自分」/まちかど美術館2012/上組小6年生/会場:宮内商店街、APM/企画:上組小/協力:(株)高田建築事務所、APM/参加生徒:76名
- 10.7.sun/第17回APM課外授業「メッセージイラストレーションポスター展4について」/多摩美大学院生・卒業生/講師:秋山孝、御法川哲郎/参加者:24名

※ 略称について/APM:秋山孝ポスター美術館長岡、多摩美:多摩美術大学、造形大:長岡造形大学、上組小:長岡市立上組小学校

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2013-03-15

APM news 079

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



長岡市立上組小学校主催

上組小学校によるアートイベント

日 時: 2月9日(土) pm 1:00~6:00
場 所: 宮内駅~宮内商店街、APM
協 力: 株式会社 高田建築事務所、APM
来館者: 138名(上組小6年生含む)

〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



2013年2月9日、上組小学校6年生によるアートイベントが開催された。6年間通学路として歩いた地域に、アートで感謝を表したいと企画したイベントである。イベントは、版画展、ありがとうアート、きらきらペットボトルツリー、きらきらキャンドルの4つから構成された。

版画展は、「ありがとう 私の大切なもの」というテーマで制作された6年生全員分76点の木版画をAPMの壁に展示した。赤、茶、黄、緑、青、黒の6色の中から自分のイメージに合った色を選び塗り上げる。しっかりと色ののった作品、かすれに味わいのある作品、それぞれである。題材も、机や文房具、ランドセルといった6年間使用したものが主流だが、中には友人や建物を題材にした生徒もいた。6年生は自分の作品が美術館に展示されるというまたとない機会に、目を輝かせていた。ありがとうアートは、まちの人たちと一緒に作り上げる作品である。55cm×65cm程度の画用紙で作ったハート型の台紙に、5cm四方の紙片を貼り付けていくと、文字が浮き上がる仕組みである。紙片には浮かび上がる文字の一部の下書きが書かれており、それ以外の余白を好きな絵や柄で埋めていく。紙片は1枚の台紙に対して94枚が必要で、5枚分ともなると470枚という数になる。事前に上組小学校内で紙片に絵を書いてくれるよう協力を呼びかけ、当日は文字部分を中心にした。5枚の台紙には「あ」「り」「が」「と」「う」と感謝のことが浮かび上がった。きらきらペットボトルツリーは、高さ3mの自立する木の柱に、ペットボトルを切り開いて作った花のようなものを飾り付けていくものである。3mの柱からはビニールの紐が伸び、そこにはペットボトルの飾りや、紙で作った飾りなどで装飾が施された。また、ありがとうアートで町の人たちと作成した5枚の台紙は、完成と同時にペットボトルツリーに飾り付けられた。きらきらキャンドルは、真っ白な紙コップに絵を描いてもらい、それをキャンドルホルダーとして使用し、宮内駅からAPM前の雪に埋め、道を明るく照らすというものである。生徒たちは雪の降る中、道行く人々に積極的に参加を呼びかけていた。

このイベントでは、6年生が地域の人々に感謝をあらわし、活気を持たせたいと企画したイベントだったので、6年生自身が積極的に地域の人々に呼びかけ、関わり合うこととなった。一方で地域の人々も6年生が動きやすいようにと事前に回覧を回し、周知するなどサポートしてきた。閉会の際に6年生の代表者が「感謝をあらわしたいと取り組んだイベントだったが、多くの人々に支えられていたことがわかった」と述べていた。このイベントが今後も継続し、学校と地域が相互に支えあい、協力しあう魅力的なイベントとなるよう、APMも両者と密な関係を築いていく必要があると感じた。(森山奈帆・APM職員) APM公式ホームページより抜粋

原発問題考えよう

反原発を訴えるポスターを集めた展覧会「ノーモア・フクシマ」が、宮内2の秋山孝ポスター美術館長岡で開かれている。福島第1原発の爆発を知らせる新聞号外をはじめ込んだ作品などを、来場者は神妙な面持ちで見つめていた。写真真似。

展覧会は福島原発事故を受け、原発について考える機会にしよう」と全国を巡回している。著名デザイナーらが反原発を呼び掛けるポスターを掲げ、東京でデモ行進をしたことをきっかけに集められた作品の中から、63点を展示している。

煙を上げる原発が胸に描かれた少女の作品を見ていた、上組小学校6年の木本咲空さん(11)は「かわいいで目に留まったけど表情はつらそう。長岡も原発から近いので、原発について考えようと思った」と話した。火曜休館。6月24日まで。

「新潟日報」 2012年4月26日

ノーモア・フクシマ

開催中～6.24(日) アート

長岡市「秋山孝ポスター美術館長岡」

ビジュアルで訴える 反原発のメッセージ

1995年のフランス核実験を機に始まった、ポスターによる反核運動。東日本大震災以降一層身近で緊迫したものとなった反原発のメッセージを、デザインの方でストレートに伝える作品展。福田純、U.G.サトウ、和田誠ら日本のデザイナーに海外からの参加作品も加えた63点が並び。

11時～17時
(入館は16時30分まで)
〒951-8501 長岡市宮内2-10-8
① 入場無料 ② 火曜
〒951-8501 長岡市宮内2-10-8
☎ 0256-39-1233

ノーモア・フクシマ展ポスター
秋山孝

「week」 2012年5月18日

ノーモア・フクシマ

開催中～6.24(日) 長岡市「秋山孝ポスター美術館長岡」

ビジュアルで訴える 反原発のメッセージ

1995年のフランス核実験を機に始まった、ポスターによる反核運動。東日本大震災以降一層身近で緊迫したものとなった反原発のメッセージを、デザインの方でストレートに伝える作品展。福田純、U.G.サトウ、和田誠ら日本のデザイナーに海外からの参加作品も加えた63点が並び。

11時～17時
(入館は16時30分まで)
〒951-8501 長岡市宮内2-10-8
① 入場無料 ② 火曜
〒951-8501 長岡市宮内2-10-8
☎ 0256-39-1233

ノーモア・フクシマ展ポスター
秋山孝

「komachi」 2012年5月25日

秋山孝ポスター美術館長岡 第9回企画展

「ノーモア・フクシマ」を開催

未来のために実現しなければならない。深刻な問題を現代社会にもたらしている。私たちに、未来のために実現しなければならないことがある。今がそのときだと、同館ではポスターを通して来館者に語りかける。同館の開催時間は午前11時から午後5時まで。毎週小曜日が休館日となる。なお同館には駐車場がないため、公共交通機関を利用しなければならぬ。問い合わせは、同館(☎0256-39-1233)へ。

秋山孝ポスター美術館長岡(長岡市宮内)では冬期休館を終え、春の訪れとともに2012年度の開催が始まった。21日からは第9回となる企画展「反原発ポスター「ノーモア・フクシマ」」が6月24日まで開催している。

同企画展は、反原発ポスター展実行委員会の協力を得て開催したもので、展覧会タイトル「ノーモア・フクシマ」は、1945(昭和20)年の「ノーモア・ロシマ」を思い起こし、重ね合わせられるようにつけたという。昨年3月11日に起きた東日本震災は、地震、津波、原発の爆発と相次いだ。しかも原発の爆発事故は放射能を拡散させその被害はいつまでもとろろと知らず。地震や津波による被害とは異なり、解決の目処もたっていない。深刻な問題を現代社会にもたらしている。私たちに、未来のために実現しなければならないことがある。今がそのときだと、同館ではポスターを通して来館者に語りかける。同館の開催時間は午前11時から午後5時まで。毎週小曜日が休館日となる。なお同館には駐車場がないため、公共交通機関を利用しなければならぬ。問い合わせは、同館(☎0256-39-1233)へ。

「長岡新聞」 2012年4月26日

子どもの夢育もう

長岡市出身の絵本作家松岡さんらトーク 中央区

「夢を育む」をテーマに、会館で開かれた。2人が行った長岡市出身の絵本作家松岡さんらトーク。松岡さんは「絵本は、子どもに夢を育むための大切な道具。絵本を通して、子どもに夢を育むことが大事」と話した。

長岡市出身の絵本作家松岡さんらトーク。松岡さんは「絵本は、子どもに夢を育むための大切な道具。絵本を通して、子どもに夢を育むことが大事」と話した。

「新潟日報」 2012年6月9日

歴史的な建物を 2009年に開館した

館長である秋山孝氏は1952(昭和27)年、長岡市生まれ。イラストレーター、グラフィックデザイナー、イラストレーション学研究者である。同館は、ポスターやイラストレーションを国際的に研究する美術館。建物は1925(大正14)年に建造された金融機関の店舗として使われてきたもの。歴史的な建物を改修し、2009(平成21)年7月12日に開館した。改修により外観も内装も一新した同館は、長岡市都市景観賞や新潟県建築士事務所協会奨励賞を受賞している。

同館では秋山氏の作品を展示するほか、研究発表や教育を目的とした展覧会を年3回開催している。また「美術館大学」と題した講演会は年5回開催する。

11月3日は研究調査、展示準備で閉館するため、開催期間は4月から10月までと限られるが、多くの市民や学生が来館、小規模ながらも心に残る美術館である。

2012「秋山孝ポスター-美術館長展」美術館便り

秋山孝ポスター-美術館長展 (APM)

秋山孝ポスター-美術館長展 (APM) は、新潟県長岡市の窓内という地区にある小さな美術館です。この小さな美術館は、公からの額面はあらず、サポーターズ倶楽部が地味、学生の協賛に支えられて運営しています。

サポーターズ倶楽部とは、ポスターやイラストレーションの楽しさを多くの大人に共通してほしいと考える APM の「使命感」に賛同し、APM を支援してくださる方々の集まりです。

APM にはイベントのたびに、多くの人が集まります。静な静みのお茶会もあれば、初めてのお客様もおり、お客様がお客様をご案内することもしばしばです。そんな温かな美術館になってまいりました。

そうした大人に支えられて APM も 7 月で 4 年目を迎えることができます。7 月からは「「越後百景十選」秋山孝ポスター展 4」が開幕、秋山孝の故郷・新潟の風景がポスターとなって展示されます。「越後百景十選」の中には長岡の風景もありますから、観覧会を見てから長岡を散策してみてもいいのではないでしょうか。きっと「あ、この風景!」と気づくことでしょう。



第 14 回新潟県立大学の様子

2012 年企画展スケジュール

- 4/21-6/24 「ノー・モア・フクシマ」展
- 7/7-9/23 「越後百景十選」秋山孝ポスター展 4
- 10/8-10/31 メッセージイラストレーションポスター展 4



秋山孝ポスター-美術館長展・外観

APM 美術館大学

秋山孝ポスター-美術館長展では、「APM 美術館大学」という講座を開講しています。地元文化・教育に貢献したいと、2009 年のオープンから継続しています。参加希望者はできるだけ受け入れたいとの思いから、定員を超えてしまってもある人気講座の教育プロジェクトです。

2012 年 4 月 21 日に行われた「ノー・モア・フクシマ」について (講師: U.G. サトー、福田誠、高田源太郎、秋山孝) では 14 回目を迎えました。地震や原子力発電の歴史、アーティストの反原発への取り組み、福島第一原発事故の海外での反応、「安全神話」について、脱原発への経緯など、さまざまな角度から 4 名の講師が順番に講義を行いました。

第 14 回新潟県立大学では原発問題を取り上げましたが、他にも、美術、教育、建築、町づくり、社会学等と、内容は多岐にわたります。

APM 美術館大学について興味をもたれた方は、APM 公式ホームページをご覧ください。これからの予定・今までの記録を掲載しています。

<http://apm-nagaoka.com/>



秋山孝

「WILD LIFE+HELP」

秋山孝 / 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター-美術館長展

秋山孝は、1952 年に新潟県長岡市郡内区に生まれました。長岡短期高等専門学校で商業美術を学び、多摩美術大学に入学。1979 年多摩美術大学卒業。1981 年東京芸術大学大学院を修了します。1986 年、自然環境ポスター「WILD LIFE+HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞します。「WILD LIFE+HELP」は、肉が赤く、骨になった鳥が数羽羽の中を飛んでいる姿を描いたもので、チェルノブイリ原発事故を暗示しているような作品です。その他各地のビエンナーレにおいて多数受賞。

故郷に自分の美術館を作った理由については「自分が生まれた町に文化を根付かせたい」「子どもたちに美術・社会・世界に関心を持ってほしい」からと述べています。

秋山孝についてもっと知りたい方は、ホームページをご覧ください。

<http://illustrationlibrary.com/>

<http://www.tamabiac.jp/gunafu/sakayama/>

土田幸子 (日本画コース 2007 年度卒業生)

「雲母」 2012年5月10日

**「越後百景十選」
秋山孝ポスター展4**

開催：開催中～9月23日(日)
●秋山孝ポスター-美術館長展 詳細は p.168

ポップな色彩で描く
「越後の美」

秋山孝ポスター-美術館長展の館長であり、イラストレーター兼、グラフィックデザイナーの秋山孝。本展では、彼の故郷である「越後」を、現代のメディアのひとつであるポスターで表現した「越後百景十選」シリーズをメインに展示。江戸の浮世絵師、北斎や広重とはひと味違った、故郷の美を感じるだろう。

「月刊にいがた」 2012年7月25日

**「越後百景十選」
秋山孝ポスター展4**

開催中～9.23(日)

長岡市 / 秋山孝ポスター-美術館長展

画 11時～17時 (入館は16時30分まで)

画 長岡市宮内2-10-8 画 入場無料

画 火曜 画 秋山孝ポスター-美術館長展

画 0258-39-1233

グラフィックデザイナーの秋山孝が故郷・新潟をモチーフにした連作10点をメインに展示。江戸時代の「名所絵」に通じる世界を、現代の浮世絵とも呼べるポスターで独自に描き出している。

秋山孝
「越後百景十選」秋山孝ポスター展4

「Komachi」 2012年7月25日

「ノー・モア・フクシマ」

開催：開催中～6月24日(日)
●秋山孝ポスター-美術館長展 詳細は p.174

「反原発」を題材に、さまざまなアーティストが参加

昨年の3月11日に起きた東日本大震災から1年が過ぎた。目撃がつかない原発事故の問題が現代社会に提示され、原子力の存在に慣れている日本人に問いかけられているようだ。そんな今、「私たちは未来のために実現しなければならぬことがある。今がそのときだ」というメッセージが込められたポスターを、長岡にある「秋山孝ポスター-美術館長展」で展示。同館の館長を務める秋山孝の作品をはじめ、和田誠や佐藤浩、遠藤享、福田誠、U.G. サトー、Luba Lukova など、約60人のアーティストがそれぞれの感性で制作した、メッセージ性の高いポスターが並ぶ。

「月刊にいがた」 2012年5月25日

GALLERY

**メッセージイラストレーション
ポスター展4**

会場：秋山孝ポスター-美術館長展

●10/6(土)～31(日) 11:00～17:00
火曜定休 観覧無料
開・秋山孝ポスター-美術館長展
☎0258-39-1233

毎年恒例の多摩美術大学院生によるポスター展。4回目となる今回は、約20名が参加。学生ならではの発想力から生まれる作品に注目。

GALLERY

「月刊にいがた」 2012年9月25日



色とりどりの児童の作品が展示されたアートイベント。会場では子どもたちがオブジェ作りにも励んだ。＝新潟市の秋山孝ポスター美術館兼資料館



秋山孝ポスター美術館。館内には秋山孝のポスターや、秋山孝の活動の軌跡が展示されている。館内には秋山孝のポスターや、秋山孝の活動の軌跡が展示されている。

「ポスター」「ポスター美術館」
 国内外で活躍するグラフィックデザイナー、秋山孝(あきやま たか)のポスター美術館が、新潟市に開館した。秋山孝は、1949年から1994年まで、日本を代表するグラフィックデザイナーとして活躍した。その代表作として知られる「赤い鳥」や「赤い花」などのポスターは、多くの人々に愛され、国内外で高く評価されている。この美術館は、秋山孝のポスターや、秋山孝の活動の軌跡が展示されている。館内には秋山孝のポスターや、秋山孝の活動の軌跡が展示されている。

新潟市の秋山孝ポスター美術館。館内には秋山孝のポスターや、秋山孝の活動の軌跡が展示されている。館内には秋山孝のポスターや、秋山孝の活動の軌跡が展示されている。



県立近代美術館での学芸員体験の前に、前園学芸員から仕事を教えてもらう児童＝新潟市の上組小学校

活動 表現通し地域と交流
 新潟市の上組小学校で、県立近代美術館の学芸員体験が行われた。児童たちは、学芸員から仕事を教えてもらい、美術館での活動に参加した。児童たちは、学芸員から仕事を教えてもらい、美術館での活動に参加した。

作品展示が励みに
 上組小学校の児童は、県立近代美術館での学芸員体験を通じて、美術館での活動に参加した。児童たちは、学芸員から仕事を教えてもらい、美術館での活動に参加した。

【秋山孝ポスターコレクション】 2013年3月1日現在

- 秋山孝ポスター(1981年-) : 152点
 - 日本ポスター(1949年-) : 54点
 - 韓国ポスター(1966年-) : 57点
 - 中国ポスター(1951年-1994年) : 235点
 - 中国ポスター(1995年-) : 9点
 - 「Voices in Freedom」展/メキシコ革命100年・独立200年記念ポスター(2010年) : 111点
 - 「GLOB-ALL MIX」ポスター展/リオ・地球サミットにおける展覧会ポスター(1992年、2012年) : 62点
 - 「NO MORE HUKUSHIMA」展/反原発ポスター(2011年) : 241点
- 総計: 921点



秋山孝ポスター (1981年-)



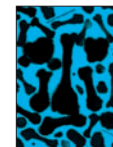
日本ポスター (1949年-)



韓国ポスター (1966年-)



中国ポスター (1951年-1994年)



中国ポスター (1995年-)



「Voices in Freedom」展ポスター (2010年)



「GLOB-ALL MIX」ポスター展ポスター (1992年、2012年)



「NO MORE HUKUSHIMA」展ポスター (2011年)

[APM事業活動記録]

2009年度 (2009.4~2010.3)

- 7.11.sat/APM開館
- 7.11.sat/第1回美術館大学「自作を語る」/講師:秋山孝
- 7.12.sun-10.9.fri/第1回企画展「秋山孝ポスター展」
- 8.1.sat/第2回美術館大学「理解者を求めて」/講師:秋山孝
- 9.4.fri/APMポスター見学/新潟デザイン専門学校生
- 9.4.fri/第3回美術館大学「建築構造の美1」/講師:斎藤公男、秋山孝/参加者:35名
- 10.12.mon-10.31.sat/第2回企画展「メッセージイラストレーションポスター展」
- 10.12.mon/第1回APM課外授業「メッセージイラストレーションポスター展 講評会」/多摩美大学院生・卒業生/講師:秋山孝/参加者:7名
- 10.13.tue/第2回APM課外授業「APMとは」/美術館大学・特別講義/講師:秋山孝/参加者:17名
- 10.17.sat/第4回美術館大学「プランニングと創作活動の情熱」/講師:牧野圭一、秋山孝/参加者:36名
- 12.18.fri, 21.mon/第3回APM課外授業「あなたならどう読む?ポスターにこめられたメッセージ」/教職12年経験者研修 教科別研修3【図画工作】/上組小6年生/指導教諭:金澤健志
- 1.25.mon/第3回長岡市都市景観賞「守る」部門受賞



2009.7.11.sat
APM開館 テープカット



2009.7.12.sun-10.9.fri
第1回企画展
「秋山孝ポスター展」



2009.10.12.mon-10.31.sat
第2回企画展
「メッセージイラストレーションポスター展」



2010.5.1.sat
第5回美術館大学
「秋山孝 中国ポスターを語る」

2010年度 (2010.4~2011.3)

- 4.11.sun/2010年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.16.fri-6.30.wed/第3回企画展 秋山孝ポスターコレクション1「中国ポスター展」
- 5.1.sat/第5回美術館大学「秋山孝 中国ポスターを語る」/講師:秋山孝/参加者:30名
- 7.10.sat-9.23.thu/第4回企画展「秋山孝ポスター展2」
- 7.10.sat/第6回美術館大学「秋山孝 自作を語る」/講師:秋山孝/参加者:65名
- 7.10.sat/APM1周年記念懇親会
- 7.21.wed/第4回APM課外授業「町探検 in APM/秋山孝ポスター展2」/上組小2年生/指導教諭:柳宏美/参加者:36名
- 8.2.mon/第7回美術館大学「中越大地震と創造的復興+APMリノベーション」/講師:渡辺斉、高田清太郎、秋山孝/参加者:45名
- 8.19.tue/第5回APM課外授業「APMの魅力」/ホクゲン宮内支店90周年記念講演会/講師:秋山孝/45名
- 9.29.wed/APM見学/長岡市立石坂小学校
- 10.2.sat/第8回美術館大学「長岡市立上組小学校美術館大学 教育・美・感動」/講師:池上秀敏、金澤健志、水谷徹平、秋山孝/参加者:48名
- 10.3.sun-10.31.sun/第5回企画展「メッセージイラストレーションポスター展2」
- 10.7.thu/第6回APM課外授業「見学 in APM」/長岡市立石坂小学校/参加者:7名
- 10.27.wed/第7回APM課外授業「鑑賞授業 in APM」/上組小6年生/指導教諭:金澤健志/参加者:約90名
- 11.23.tue/ギター演奏会(畠山ギター教室「2010 きたあ 吉他 Guitar」)/演奏:講師:畠山徳雄
- 12.8.wed/第9回美術館大学「テンスグリックタワー」/「100年の風・リプチの月」講師:秋山孝、「私にとっての構造デザイン」講師:斎藤公男/参加者:57名



2010.2.mon
第7回美術館大学
「中越大地震と創造的復興+
APMリノベーション」



2010.10.3.sun-10.31.sun
第5回企画展
「メッセージイラストレーションポスター展2」



2010.12.7.wed
鑑賞授業 in APM
上組小6年生



2011.4.16.sat
第10回美術館大学
「メキシコのポスター世界」

2011年度 (2011.4~2012.3)

- 4.16.sat/2011年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.16.sat-6.30.thu/第6回企画展 秋山孝ポスターコレクション2「Voices in Freedom 展」 in 長岡
- 4.16.sat/第10回美術館大学「メキシコのポスター世界」/講師:U.G.サトー、リンダ・リト、秋山孝/参加者:46名
- 6.22.wed/1,000,000人のキャンドルナイト in APM/企画:(株)高田建築事務所/参加者:50-60名
- 6.30.thu-7.10.sun/博物館実習 in APM/実習者:熊倉緑(造形大)、藤田みゆり(造形大)
- 7.9.sat-9.23.fri/第7回企画展「秋山孝ポスター展3」
- 7.9.sat/第11回美術館大学「長岡の教育の歴史」/講師:稲川明雄、秋山孝/参加者:64名
- 7.9.sat/APM2周年記念懇親会/参加者:69名
- 7.13.wed/第8回APM課外授業「町探検 in APM/秋山孝ポスター展3」/上組小2年生/指導教諭:柳宏美/参加者:23名
- 8.3.wed/第12回美術館大学「夢を抱いて明日に希望を!」/講師:豊口協、秋山孝/参加者:65名
- 8.5.fri/第51回関東甲信静地区造形教育研究大会・新潟大会 美術館研修
- 8.24.wed/日本建築学会大会・建築デザイン発表会「建築vsモノづくり」部門受賞
- 10.1.sat-10.31.mon/第8回企画展「メッセージイラストレーションポスター展3」
- 10.1.sat/第13回美術館大学「長岡のデザイン教育」/講師:木村保夫、秋山孝/参加者:43名
- 10.8.sat/第9回APM課外授業「Myタワー」/まちなか美術館2011/上組小6年生/会場:宮内商店街、APM/企画:上組小/協力:(株)高田建築事務所、APM/参加生徒:197名
- 10.26.wed/第10回APM課外授業「メッセージポスターがどんなことを言っているか想像しよう、返事をしよう」/上組小3年生/指導教諭:金澤健志/参加者:約90名
- 11.23.wed/畠山ギター教室・演奏会/講師:演奏:畠山徳雄
- 2.6.mon/キャンドルナイト in 宮内/会場:宮内商店街、APM/企画:上組小6年生



2010.10.27.wed
鑑賞授業 in APM
上組小6年生



2011.3.3.wed
第12回美術館大学
「夢を抱いて明日に希望を!」



2011.8.5.fri
第51回関東甲信静地区
造形教育研究大会・新潟大会
記念講演



2012.4.21.sat
第14回美術館大学
「『ノー・モア・フクシマ』について」

2012年度 (2012.4~2013.3)

- 4.21.sat/2012年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.21.sat-6.24.sun/第9回企画展 秋山孝ポスターコレクション3「ノー・モア・フクシマ」
- 4.21.sat/第14回美術館大学「『ノー・モア・フクシマ』について」/講師:U.G.サトー、福田毅、高田清太郎、秋山孝/参加者:46名
- 5.18.fri/第11回APM課外授業「原発ポスター 講評会」/造形大・御法川研究室/参加者:10名
- 6.15.fri/第12回APM課外授業「地震ポスター 講評会1」/造形大・御法川研究室/参加者:10名
- 6.21.thu/1,000,000人のキャンドルナイト in APM/企画:(株)高田建築事務所/参加者:64名
- 6.24.sun-7.8.sun/博物館実習 in APM/実習者:阿部春花(造形大)、庭野真梨子(造形大)
- 7.7.sat/第13回APM課外授業「地震ポスター 講評会2」/造形大・御法川研究室/参加者:10名
- 7.7.sat-9.23.sun/第10回企画展「越後百景十選」秋山孝ポスター展4
- 7.7.sat/第15回美術館大学「『越後百景十選』について」/講師:河田博、秋山孝/参加者:72名
- 7.7.sat/APM3周年記念懇親会/参加者:68名
- 7.8.sun/第14回APM課外授業「ポランドポスターについて」/多摩美大学院生・卒業生/講師:秋山孝、御法川哲郎/参加者:26名
- 7.18.wed/第15回APM課外授業 in APM/「越後百景十選」秋山孝ポスター展4」/上組小2年生/指導教諭:関谷晴代/参加者:38名
- 8.3.fri/第16回美術館大学「ワルシャワ国際ポスタービエンナーレについて」/講師:甲賀正彦、御法川哲郎、秋山孝/参加者:67名
- 10.6.sat-10.31.wed/第11回企画展「メッセージイラストレーションポスター展4」
- 10.6.sat/第17回美術館大学「新企画2013『高田清太郎の建築デザイン哲学』と『ポランドポスターの巨匠展』について」/講師:高田清太郎、御法川哲郎、秋山孝/参加者:44名
- 10.6.sat/第16回APM課外授業「なりたい自分」/まちなか美術館2012/上組小6年生/会場:宮内商店街、APM/企画:上組小/協力:(株)高田建築事務所、APM/参加生徒:76名
- 10.7.sun/第17回APM課外授業「メッセージイラストレーションポスター展4について」/多摩美大学院生・卒業生/講師:秋山孝、御法川哲郎/参加者:24名
- 2.9.sat/長岡市立上組小学校アートイベント「上組地域への感謝の会」/会場:宮内駅〜宮内商店街、APM/企画:上組小6年生/協力:(株)高田建築事務所、APM/指導教諭:神谷典男/来館者:138名(上組小6年生含む)



2012.6.24.sun-7.8.sun
博物館実習 in APM



2012.7.7.sat
APM3周年記念懇親会



2012.8.3.fri
第16回美術館大学
「ワルシャワ国際ポスター
ビエンナーレについて」



2013.3.29.sat
長岡市立上組小学校アートイベント
「上組地域への感謝の会」

※ 略称について/APM:秋山孝ポスター美術館長岡、多摩美:多摩美術大学、造形大:長岡造形大学、上組小:長岡市立上組小学校

2013年「秋山孝ポスター美術館長岡」企画展・美術館大学のご案内

- 第12回企画展「高田清太郎の建築デザイン哲学」展／4月20日(土)初日のみpm3:00～5月25日(土)
 - ・第18回美術館大学『高田清太郎の建築デザイン哲学』について
 - 講師：高田清太郎、秋山孝／4月20日(土) pm3:00～4:30
- 第13回企画展 秋山孝ポスターコレクション4「ポーランドポスターの巨匠 in 長岡」展／6月1日(土)～6月29日(土)
 - ・第19回美術館大学『ポーランドポスターの巨匠 in 長岡』について
 - 講師：御法川哲郎、秋山孝／6月1日(土) pm3:00～4:30
- 第14回企画展「声なき声を聞く」秋山孝ポスター展5／7月6日(土)～9月23日(月)
 - ・第20回美術館大学／7月6日(土) pm3:00～4:30
- 第15回企画展「メッセージイラストレーションポスター」展5／10月5日(土)～10月31日(木)
 - ・第21回美術館大学／10月5日(土) pm3:00～4:30

入館者数

2009年度(2009.4～2010.3)：1980名
 2010年度(2010.4～2011.3)：1034名／累計3014名
 2011年度(2011.4～2012.3)：1005名／累計4019名
 2012年度(2012.4～2013.3)：1004名／累計5023名

- ・開館時間：午前11時～午後5時まで(入館は閉館の30分前まで)
- ・休館日：火曜日
- ・開館期間：4月～10月／閉館期間：11月～3月
- ・入館料：無料



秋山孝ポスター美術館長岡の建造物は1925年(大正14)に建設されました。以来87年を迎えた歴史的建造物です。(長岡市都市景観賞、新潟県建築事務所協会・奨励賞)

Report-4 Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

発行日：2013年4月1日
 発行者：秋山孝
 発行所：秋山孝ポスター美術館長岡
 〒940-1106 新潟県長岡市宮内 2-10-8 / Tel,Fax : 0258-39-1233
 E-mail : info@apm-nagaoka.com URL : http://apm-nagaoka.com

編集/デザイン：秋山孝、御法川哲郎
 印刷所：東銀座印刷出版株式会社 ※無断で複写、複製および使用を禁ず。

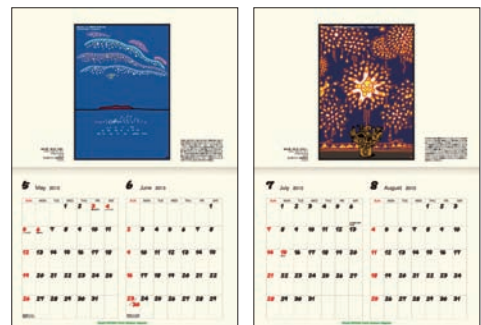
Report-4 Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

Date of issue : 2013.04.01
 Publisher : Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka
 2-10-8 Miyauchi Nagaoka-city Niigata 940-1106 Japan / Tel,Fax : 0258-39-1233
 E-mail : info@apm-nagaoka.com URL : http://apm-nagaoka.com
 Edit/Design : Takashi Akiyama, Tetsuro Minorikawa
 Printed in Higashi-Ginza Insatsu-Shuppan Inc.

© 2013 Takashi Akiyama, Published in Japan by Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka.

All right reserved.No part of this book may be reproduced in any form or by any means, electronic or mechanical,including photocopying or recording, or by any information storage and system,without permission in writing from the publisher.

・中綴じ製本/A4(天地297×左右210mm) ・表紙・本文：ライトスタッフGA菊Y93.5kg



Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka
2013年カレンダー

「秋山孝ポスター美術館長岡」
運営委員会 2012年4月1日～2013年3月31日

館長：秋山孝(多摩美術大学教授)
 会長：豊口協(長岡造形大学理事)
 副会長：牧野忠昌(長岡藩牧野家17代当主)
 副会長：高田清太郎(高田建築事務所代表取締役社長)
 幹事：田上敏三郎(田上商店社長)
 幹事：中村隆(NPO法人醸造の町撰田屋町おこしの会・会長)
 幹事：高田勉(高田事務所専務取締役)
 幹事：広川和義(北越銀行宮内支店長)
 監事：丸山博(NPO法人醸造の町撰田屋町おこしの会・副会長)

